

FC町田ゼルビアのイベントで塩飴の配布などを行いました。

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会では、平成30年7月25日(水)、東京都の町田市立陸上競技場イベント広場（ゼルビーランド）で開催された「熱中症対策ゼルビアキャンペーン」において、塩飴の配布などを行いました。

このイベントは、J2のFC町田ゼルビアと町田市（塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会協力団体）が協働して、サッカーの試合の観戦者に熱中症対策をPRするもので、塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会も、町田市のブース運営に協力しました。

町田市のブースでは、熱中症への注意の呼びかけや、クールタオルの配布、熱中症に関するクイズ、マイボトル持参の方への麦茶の無料給水などが実施されました。塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会でも、塩飴やウチワを提供し、合わせて配布しました。また、小学生以下のお子様を対象に、塩イルカの輪投げも行いました。

会場では、ステージでのトークショーや飲食屋台の出店、お子様向けのアトラクションなど様々な催しが行われ、大勢の来場がありました。16時30分からブースをオープンし、試合開始の19時までに、町田市のブース全体では約900名の方に、クールタオルの配布や声かけを行いました。その中で、塩と暮らしを結ぶ運動としては塩飴やウチワを約500名の方に配布しました。また、約100名のお子様にも、輪投げにチャレンジしていただきました。

なお、当日の対戦相手は京都サンガF.C.でしたが、2-1でホームのFC町田ゼルビアが勝利しています。サポーターの皆さんの応援に、クールタオルや塩飴が少しでもお役に立ったならば幸いです。

